

# 「新しい戦前にさせない」

# 9.12

## 連続シンポジウム 第6回シンポ

# マイナ保険証

「マイナ保険証」は、任意取得であるマイナンバーカードなのに、国民皆保険制度と抱き合わせ、おまけにこれまでの紙やプラスチック製の健康保険証を廃止するという無茶な政策です。

カードの普及が進まなかったのは、使い勝手が悪く、便利でもない、おまけに制度のスタート時には「カードを失くさないように大切に保管」などと宣伝していたからです。

ところが「全員取得」の方針を掲げた安倍・菅・岸田政権は、2兆円を超える税金をばらまき、申請率は80%近くになりました。さらに増やそうと、保険証に手をつけたのです。

そもそも「有志」と「全員」という2つの異なるものを無理やり一緒にさせようということに矛盾があったのです。

さあ、ではどうなる？ 今回のシンポジウムでは、点検を一方向的に押し付けられている自治体から、オンライン資格確認を強制されている医療界から、認知症、障害者などが取り残されるとの声が聞こえ、ケア労働のいっそうの強化も懸念される介護の現場からなどの声をもとに、市民の立場からマイナンバー制度を徹底検証するという企画です。

**日時** 2023年9月12日（火）18:30～20:30 18:10 開場

**会場** 文京区民センター 2A 会議室 都営地下鉄三田線春日駅 A2 出口すぐ

**主催** 共同テーブル **資料代** 800 円

**出演者**

**基調提案** 白石孝（プライバシー・アクション代表）

## 「マイナンバー制度の解説と問題点」

各分野から

自治体首長から：阿部裕行（多摩市長）  
医療界から：吉田章（東京保険医協会副会長）  
介護現場から：小島美里（暮らしネット・えん代表）  
市民から：藤代政夫（千葉県鎌ヶ谷市民）  
自治体議員から：伊藤とし子（佐倉市議会議員）

**総括コメント**

清水雅彦（日本体育大学教授）

多くの参加者が見込まれます。定員（200名）になり次第、申し込みを締め切りますので、下記のメールアドレスまでお申し込みをお願いいたします。

E-mail : [e43k12y@yahoo.co.jp](mailto:e43k12y@yahoo.co.jp)

「制度徹底説明」

# はいらない！